

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画推進に係る事業)

平成31年2月21日

協議会名: 飛騨市公共交通会議

①事業の結果概要	②事業実施の適切性		③事業の今後の改善点 (特記事項含む)
【事業内容及び結果概要を記載】	A ・ B ・ C 評価	【事業が適切に実施された(されている)か記載。適切に実施されなかった(されていない)場合には、実施されなかった事項及び理由を記載。】	【事業の今後の改善点として、取組内容・関係者それぞれが果たすべき役割等を記載。】
【事業内容】 公共交通モニタリング及び評価検証業務 【結果概要】 平成27年10月に再編を行った飛騨市の公共交通について評価検証を行い次年度以降の運行改善につなげるため、利用実績データの収集及び市民アンケート調査並びにそれらのデータを基とした評価検証を行っ	A	事業が適切に実施された。	市内には、市運行路線及び事業者運行路線があり、かつ、利用者数にも大きく相違がある。評価検証にあたってのデータ取得については、路線の状況に応じて取得方法を考える必要がある。 行政: スケジュール管理、連絡調整
【事業内容】 協議会の運営 【結果概要】 計画に基づく各事業の実施状況・達成状況を評価するための協議会を開催した。(平成31年1月 飛騨市公共交通会議開催)	A	事業が適切に実施された。	
【事業内容】 わかりやすいバス停の案内表示の作成 【結果概要】 バス停に基本的な情報を分かりやすく案内するため、路線・ダイヤ・運賃等の情報を盛り込んだ案内掲示を作成した。	A	事業が適切に実施された。	利用者の利便性向上のためには、案内内容について、利用者の意見を聞き、反映させることを考える必要がある。 行政: 意見聴取 事業者: 日常的な利用者意見の報告

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会名:飛騨市公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
濃飛乗合自動車(株)	神岡東部線 【運行区間】 ①濃飛バス神岡営業所～東雲～濃飛バス神岡営業所 ②濃飛バス神岡営業所～老健たかはら～濃飛バス神岡営業所 ③割石温泉～東雲～濃飛バス神岡営業所	【前回の事業評価結果】 利用が伸びない便の改善や住民等の要望による変更に取り組む場合、より一層の利便性向上・効率性向上につながるか、検証すること。 【今回の反映】 平成29年11月より、利用者のニーズに対応する形でルートを拡大し運行している。	A 事業が計画に基づき適切に実施された	B 【目標】 ・利用者人数:1,900人 ・収支率:10%以上(全体) 【結果】 ・利用者人数:2,167人(補助対象934人) ・収支率:全体9.0%(路線単独4.0%) 利用者人数は達成。全体の収支率及び路線単独の収支率でも未達成。	【改善点・改善策】 利用者数が少ない便について、地域の声及び現利用状況を考慮しダイヤ改正等の検討を行う。 【特記事項】 再編初年度と比較すると、利用者数は1.5倍超となっており、年々増加していることから、利用者のニーズに応じたダイヤ及びルートの改正が功を奏しているものと思われる。
濃飛乗合自動車(株)	柏原線 【運行区間】 ①濃飛バス神岡営業所～寺林公民館～柏原パーキング ②割石温泉～寺林公民館～柏原パーキング ③濃飛バス神岡営業所～神岡小学校～柏原パーキング	【前回の事業評価結果】 利用が伸びない便の改善や住民等の要望による変更に取り組む場合、より一層の利便性向上・効率性向上につながるか、検証すること。 【今回の反映】 地域の要望を確認し実施する方向性を決定した。ダイヤ改正は平成31年4月を予定している。	A 事業が計画に基づき適切に実施された	C 【目標】 ・利用者人数:1,600人 ・収支率:10%以上(全体) 【結果】 ・利用者人数:1,393人 ・収支率:全体9.0%(路線単独2.2%) 利用者数及び収支率ともに目標未達成となった。昨年度からの路線の変更はなく、人口減及び地域に唯一の商業施設兼金融機関が閉店したことが要因として考えられる。	【改善点・改善策】 前年度は1,566人の利用があったが、今年度はその約1割減となった。本路線の利用は、沿線の温泉施設の利用者数に左右されることから、当該施設と連携してバス利用をPRする等利用促進を図る。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成 年 月 日

協議会名:飛騨市公共交通会議

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
飛騨市	かみおか循環乗合タクシー 系統2 【運行区間】 神岡振興事務所～旧奥飛騨温泉口、濃飛バス神岡営業所、割石温泉～神岡振興事務所	【前回の事業評価結果】 利用が伸びない便の改善や住民等の要望による変更に取り組む場合、より一層の利便性向上・効率性向上につながるか、検証すること。 【今回の反映】 利用者からの要望に対し、変更により生じる結果を検討のうえ、現状維持として実施した。(車両大型化、運行回数増など)	A 事業が計画に基づき適切に実施された	A 【目標】 ・利用者人数:10,000人 ・収支率:10%以上(全体) 【結果】 ・利用者人数:10,248人 ・収支率:全体9%(路線単独24.0%) 利用者人数は達成。全体の収支率9%ではあるものの、路線単独では24.0と目標を大きく上回っている。	【特記事項】 再編初年度と比較すると、利用者数は1.6倍超となっている。H28からH29ほどの大きな増加は無いものの、微増しており、利用者のニーズに応じた変更が定着してきているものと思われる。今後の状況を注視し、適宜利用者要望に対して検討を行う。
飛騨市	桃源郷線 系統1 【運行区間】 飛騨古川駅～中野公民館、すば一ふる桃源郷温泉、寺村～山王	【前回の事業評価結果】 利用が伸びない便の改善や住民等の要望による変更に取り組む場合、より一層の利便性向上・効率性向上につながるか、検証すること。 【今回の反映】 ルート変更の要望について検討し、結果として現状維持として実施した。(別路線経路への延長要望)	A 事業が計画に基づき適切に実施された	B 【目標】 ・利用者人数:3,410人 ・収支率:10%以上(全体) 【結果】 ・利用者人数:4,955人 ・収支率:全体9%(路線単独5.8%) 利用者人数は達成。全体の収支率及び路線単独の収支率も未達成。	【改善点・改善策】 利用者の少ない便については、ダイヤ等の見直しの検討が必要。 【特記事項】 再編初年度と比較すると、利用者数は2倍近く伸びている。また、通学定期券の取り扱い件数は5倍超に伸びており地域に定着してきている。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成 年 月 日

協議会名:	飛騨市公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>飛騨市は岐阜県最北端に位置し、北は富山県、南は高山市、西は白川村に接している。 面積は、792.53平方メートル、人口は24,307人(H30.12.1現在)。 飛騨市では人口減少及び少子高齢化が急速に進行しており、市民や来訪者の移動を確保し、向上させることは非常に重要な課題である。飛騨市公共交通網形成計画策定時(H27.3)と比較しても5.7%の人口減という状況ではあるが、計画策定初年度から比較し公共交通利用者数は増加しており、網形成計画及び再編実施計画に伴う事業実施により、路線、ダイヤ、市民意識、利用設備等、公共交通に関する環境において、より良い状況へ向かっている。 今後も、幹線や地域路線、地域内循環線等、各路線に役割を明確にし、効率的で分かりやすい公共交通網の形成を目指す。 また、これらの路線を接続させ、通院、買物、通学といった市民に対する最低限のQOLを保障し、かつ、来訪者の移動利便性の向上につながる地域公共交通を目指す。</p>